

万博国際交流プログラム登録申請書

令和6年6月25日

内閣官房国際博覧会推進本部事務局長 殿

申請者住所 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

申請者名 金澤 秀三郎

万博国際交流プログラム推進要綱（令和6年1月19日内閣官房国際博覧会推進本部事務局決定）第3（1）の規定に基づき、登録を受けたいので別紙交流計画とあわせ、下記の通り申請します。

記

申請団体名	雲仙市
(代表団体名)	
代表者氏名	金澤 秀三郎
事業名	日本が誇る雲仙市の在来種野菜を 全国・世界に発信するプロジェクト
事業期間	令和6年12月～令和8年3月

別紙

交 流 計 画

1. 交流の相手国・地域に関する内容（要綱第3（2）ア関係）

交流の相手国・ 地域名	デンマーク王国
----------------	---------

相手国・地域との折衝状況

雲仙市において、古くから地域で守り育てられた「在来種野菜」の種を採り、その野菜が持つ遺伝子や特性を次の世代につなぐ農業に長年取り組んでいる「岩崎政利」氏という農業者がおられます。

以前より、「在来種野菜」や岩崎氏の取り組みに惹かれ、農業者や消費者、料理人など多くの方々が雲仙市を訪れ、さらには移住にも繋がっていることに着目し、雲仙市は関係人口創出の取り組みの1つとして「在来種野菜」をテーマに、国内向けの「農業」「食」に関するイベントを行ってきました。

その取り組みは、オーガニック直売所・タネトの店主である奥津氏を中心に、著名なアーティスト、文化人、芸能人にも拡がり、そのような方々が情報発信して頂くことで、雲仙市の関係人口、シティプロモーションによる効果が徐々に高まりつつあります。

加えて、在来種野菜や伝統野菜などを使用した地域に根差した食文化や、その魅力に惹かれた料理人などによる取り組みが評価され、「美食都市アワード」の第1回目の受賞都市に雲仙市が選定されるなど、「食」の分野においても評価を得てきております。

そのような中、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした万国博覧会が開催され、「いのちをつなぐ」「伝統的な食文化」などが本市の取り組みと合致することから、万博の開催をチャンスとして捉え、万博と関連した事業を行うことで、さらなる関係人口創出を図れればと考えておりました。

また、国内外において関係人口の創出を図るためには「食」という分野で影響力や発信力のある方々と関わりを持つことが重要であることから、「世界最高のレストラン」を4度も受賞した「デンマーク」の「Noma」の料理人などを招聘し、在来種野菜の魅力を知ってもらい、発信して頂くことで、その効果を高める取り組みを計画することになりました。

さらに、「デンマーク」は 1998 年に世界で初めてオーガニック食品の生産に関する規則と法律を制定した国であり、オーガニック野菜に関する意識が非常に高く、「在来種野菜」への理解度が高いことが期待されます。

以上の理由により、交流対象国は「デンマーク」とすることにしました。

そこで、6月12日、デンマーク大使館において、同大使館の食品・農業部門、及び広報部門の職員3名の方々と面談を行い、本市のこれまでの取り組みや、万博における交流事業を通じてデンマークと共に在来種野菜の魅力を世界に向けて発信し、相互に成長していきたい旨等をご説明したところ、先方から「雲仙市の取り組みは非常に興味深く、万博において一緒に取り組みを行ってみたい。万博における交流事業を進めてもらって良い。」との主旨のご回答を得たところです。

相手国・地域の在京大使館等のコンタクトパーソン（いる場合）

名前：松本 美保 / MIHO MATSUMOTO

官職：デンマーク王国大使館 上席商務官(食品・農業)

連絡先：mihmat@um.dk

2. 行おうとする交流及び当該交流に伴い行われる取組みの内容（要綱第3（2）イ関係）

（1）考え方

令和5年度末に実施した雲仙市の関係人口イベント委託事業「種を蒔くデザイン展 2024」において、雲仙市の生産農家・岩崎氏の在来種野菜への取り組みや魅力を伝えることを目的に、オーガニック直売所タネト・奥津氏が以下のイベントを実施しました。

1. 在来種野菜を用いた料理教室やポップアップレストラン
2. 未来の食や、農業、デザインなどに関する著名人・文化人（岩崎政利氏、養老孟司氏、内山節氏、東浩紀氏など）とのトークイベント

本イベントにおいては、主に国内・都市部を中心に多くの方々に注目され、雲仙市の関係人口の創出に寄与したものと考えています。

これまでの実績を踏まえ、雲仙市では、大阪万博を在来種野菜の魅力を世界に向けて発信するチャンスと捉え、加えて更なる関係人口の創出に向けて、デンマークとの交流を通じて、全世界に発信していきたいと考えています。

市が考える本プログラムにおける取り組みは、これまでのイベントを海外向けに手を加え、デンマーク大使館職員、デンマークのレストランの料理人、シグネチャーパビリオンの関係者等を招待し、以下のイベントを行いたいと考えています。

1. 在来種野菜の料理の試食会
2. 未来の食や文化に関する著名人によるトークセッション
3. 在来種野菜をPRするイベント

(2) 交流計画

事業期間	関係者等との交流の内容			交流に伴い行われる取組み
		万博参加国・地域のナショナルデーのイベント参加、万博参加国・地域のパビリオンの準備・運営等に関わる者（要綱第2（1）ア）	万博参加国・地域の関係者（要綱第2（1）イ）	万博の企画・運営等に関わる日本側の万博関係者（要綱第2（1）ウ）
万博会期前 2025年4月12日までの取組みを記載			小山薫堂氏によるシグネチャーパビリオンの関係者などを招待し、未来の食や文化に関するトークセッションを関西にて行う。	
万博会期中 2025年4月13日から10月13日までの取組みを記載	デンマーク大使館の食・農に関する職員などを招待し、在来種野菜を用いた料理の試食会を雲仙市で開催する。	Noma 等のデンマークのレストランの料理人（デンマーク人含む）を招待し、在来種野菜の料理の試食会を雲仙市で開催する。	1. 小山薫堂氏によるシグネチャーパビリオンの関係者などを招待し、未来の食や文化に関する著名人（岩崎政利氏、養老孟司氏、内山節氏、東浩紀氏、皆川明氏など）によるトークセッションを関西各地で開催する。 2. 在来種野菜を小山薫堂氏のシグネチャーパビリオンの一部で展示する。	雲仙市に在住する在来種野菜の農家や料理人等と、デンマーク大使館の食・農に関する職員、Noma のデンマークのレストランの料理人（デンマーク人含む）等が、雲仙市において一緒に在来種野菜の種採りや料理作りを行う交流会を行い、在来種野菜をPRするイベントを行う
万博会期後 2025年10月14日から2026年3月31日までの取組みを記載			小山 薫堂氏によるシグネチャーパビリオンの関係者などを招待し、未来の食や文化に関するトークセッションを関西にて行う。	

3. その他交流の実施に必要と認められる事項（要綱第3（2）ウ関係）

岩崎氏による在来種野菜の農業の取り組みや、在来種野菜の魅力等により、これまで、多くの方々による雲仙市への訪問や移住・定住につながっています。

1. 東京でオーガニックの料理教室などを行っていた「奥津爾」氏は、在来種野菜を栽培する農家・岩崎氏の取り組みに感動され、2013年に一家で雲仙市に移住されました。現在は「オーガニック直売所・タネト」の店主として、地元のオーガニックや在来種野菜を販売したり、在来種野菜の魅力を全国に向けて発信されたりしています。
2. 東京でレストランを経営していた「原川慎一郎」氏は、複数の方々から「雲仙市に岩崎氏というすごい農家がいる」と聞き、岩崎氏の畑を訪れ、岩崎氏の栽培した野菜を食べたところ、その味に衝撃を覚えたそうで、岩崎氏や若手農家・田中氏などを応援したいとの想いで、2020年に雲仙市に移住され、雲仙市小浜町にてレストラン「BEARD」を開業されました。「BEARD」には市外等から多くの方々が見学や在来種野菜を食材とした料理を求めて訪問されております。
3. 「オーガニック直売所・タネト」は、岩崎氏の取り組みや在来種野菜の魅力等を知ってもらうために、全国の若者等を対象として、3週間程度のインターンを行っています。インターン中の宿と食材はタネトが無償で提供しますが、それ以外のインターンにかかる経費（雲仙市までの往復交通費など）は参加者負担であるにもかかわらず、全国から多くの若い世代が参加されています。インターンを開始した令和3年から現在に至るまで、合計で60人以上の方々（多くは20～30代の若い世代）がインターンを経験されました。

また、美食都市研究会と専門誌「料理王国」が共同で創設し、食文化と地域の魅力が融合した都市を選出する「2024 美食都市アワード」に雲仙市を含む5都市が選ばれました。これは、地域固有の文化と食の魅力を生かして地方の価値を高め、新たな文化やビジネス創出に尽力した都市に贈られるものであり、在来種野菜に関わる農家や料理人の取り組みなどが評価され、同アワードを受賞できたものと考えております。

これまで「在来種野菜」の生産、料理、販売等に関わる様々な人達の活動が「関係人口創出」の大きな「うねり」を引き起こしつつあります。これらの活動を、万博を通じて全世界に向けて発信することができれば、全世界を巻き込んださらに大きな「うねり」を引き起こすことができると考えております。

【連絡先】

担当者名	原口 尚也
担当者所属	雲仙市 総務部 政策企画課 政策企画班
担当者連絡先	
電話（直通）	0957-47-7709
電子メール	kikaku@city.unzen.lg.jp （組織）